

2021・小学校中学年「ぼくのあいぼうはカモノハシ」

□主人公のルフスはことばを話すカモノハシ・シドニーと出会います。もし私がシドニーとであれば、
とと思いました。

□ルフスのお父さんは遠くはなれたオーストラリアで仕事をしています。もし私のお父さん / お母さん / 家族が
ずっとはなれて会うことができなかつたら、
とと思いました。

□ルフスとシドニーは、オーストラリアに行こうと計画します。私は、その計画を知って、無理だ / 楽しそう /
すごい / バカなことを考えるな と思いました。私なら
したと / と考えた / ではないか と思いました。

□ルフスはシドニーと会ったことで（自分のできることをやってみる、ダメだと考える前に行動してみる /
どうしたらできるだろうかと考える / 失敗してもあきらめないでちょうせんする） ということことができました。
シドニーと会わなかつたら、最初からあきらめてしまっていた、何も行動しないままでいた / チャレンジする
こともできなかつた / 自分がどうしたいのか・何をしたいのか伝えられなかつた
とします。
でも、結果としてはたくさんの人にめいわくをかけてしまいました。私は / 私なら
とと思いました。

□私が一番ドキドキした / びっくりした / 悲しくなった / 感動した / 楽しくなった 場面 / セリフ は、
です。
なぜなら、
だからです。

□私も【だれかにめいわくをかけた体験 / 心配させてしまった出来事】①状況の説明：いつ・どこで・だれが /
だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして ③状況 / 心の変化：
どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか
ということがありました。
そのこと / 経験から、（これからは気を付けようと思ったこと / どうすればよかったのかか反省すること）
という考え方になりました / という気持ちになりました。

□最後に、ルフスはオーストラリアでお父さんに会うことができました。私は
とと思いました。

きっとこのことでルフス / ルフスの家族 / ルフスのお父さん / お母さん は、
ではないかと思いました。

私は、ルフス / シドニー / ルフスの家族 には、
なって欲しいと思いました。